

○司会 それでは、本日のヒアリングを始めさせていただきます。まず初めに東京都公衆浴場業生活衛生同業組合の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

（東京都公衆浴場業生活衛生同業組合 入室）

（要望書手交）

○司会 ありがとうございます。どうぞご着席お願いいたします。それでは、これより東京都公衆浴場業生活衛生同業組合の皆さまとのヒアリングを始めさせていただきます。また、冒頭、知事からお願いいたします。

○小池知事 近藤理事長はじめ、皆さま方には、これで4回目のヒアリングになります。今回は特に、予算のご要望のみならず、これからの長期計画・長期戦略を東京都は今描きつつある中において、皆さま方、公衆浴場業生活衛生同業組合としてこうありたいんだという、ちょっとスパンを長くしながら、そうすると事業承継とか、いろいろエネルギーの問題等々出てくるかと思えますけれども、そういった点についてもお触れいただければと思っております。それから、今度の「TOKYO SENTO Festival 2020」、こちらの方もどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

○司会 はい、それでは、理事長の方からよろしくどうぞお願いいたします。

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） はい、ありがとうございます。長期的なことをまずお伺いをいたしましたので、我々、今、500、現在で524軒ございます。

○小池知事 去年は？（マイクを通さない会話）

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） 去年は550だった。かなり少なくなりました、そこを何とか歯止めをかけたいというふうに考えております。そして、将来的には、我々524軒が、個性的なそれぞれのサービスを持ちながら、銭湯にお客さんが選んで来てもらうような、コストパフォーマンスが470円でこれだけ出来るんだよということを示していく、これが一番大事なことだと思います。それぞれの524軒を巡ってみても、“楽しいよ”と言っていたりするような風呂屋をつくっていくことが大事であって、私たちの意識改革もしないといけない、そういうふうに今頑張っております。

そんな中で、前年度、公衆浴場の活性化支援実証事業、お風呂屋さんがなくなるというということで、知事からご要望をいただきました。そんな中で、浴場の経営のノウハウを学ぶ連続セミナーとか、それから専門家の派遣、それから職場の体験や業者との交流会等、いろいろやらせて、実施をさせていただいております。そんな中で、成果を得たのが幾つかあるんですよ。一番大きな成果を上げたのがこれでございます。「銭湯の見える化」ということをいたしました。お風呂屋さんって、どうしても外から見ると中身が分からない、値段も分からない、或いは定休日も書いてないというお風呂屋さんもあるので、中が見えたらどうだろうということで、お風呂屋さんの中の看板を外に貼り出そうということで、これを実際にやってみました。これを外に、まるっきり、豊一豊の。そしてその中で、料金はいくらですよ、それから定休日はいつですよっていうことをやりました、そして去年が100軒ほど実施いたしました。そしたら皆さんのお声が、売上につながりまして、そし

て営業外でもPRできるんですね。そして、お客さんも、“あっ、入口が変わったね、綺麗になったね”っていう効果が絶大にありまして、お陰さまで、知事がもう4年ですね、我々も、私も4年、丸4年経って、5年目なんですけれども、この4年間、東京都さんの入浴者数の一日の平均で、入客数がこの4年間V字回復いたしてます。ありがとうございます。いろんな施策を、それから地域貢献をやるのも大事だなというふうに思っておりますので、そんなことがありました。

そしてまた、今お話にもありましたが、「TOKYO SENTO Festival 2020」。これ、Tokyo Tokyo FESTIVALスペシャル13ということで選ばせていただきました。本当に感謝いたします。もう、日本の文化である銭湯、江戸時代からの文化の銭湯、風呂敷も含めて、世界に発信力ってあると思うんですね、文化ということで。それで、我々もこうやって、TOKYO SENTO Festival 2020のロゴを作ったりして、それからヤマザキマリさんにお手伝いをしていただいて、古代のローマの絵を書いていただいたり、そういうことをやって、アピールをしていく。それから、524軒全部でもって、暖簾を、ヤマザキマリさんの絵を出して、暖簾を作ってみようとか、そういうこともやっています。あと、大塚いちおさんの話もありまして、「みいつけた」という、NHK、Eテレの、も協力していただいてやります。そうやって、ONE TEAM（ワンチーム）としてね、ONE TEAM（ワンチーム）。すみません、私も本当にそんな感じが大事だなと思ってますので。ここでONE TEAM（ワンチーム）ですから。そうやって信頼感を高めて、それで、来年のオリンピックを、日本、東京の文化としてできればいいかなというふうに思っております。それで、この間、10月10日の10時10分に発表いたしました。記者発表会。ていうのは、銭湯って、10月10日なんですね。それで、10時10分で、両方足すと2020という語呂を含めまして。小池知事がなんか好きそうだなあと思ったんで。汗かきました。ちょっとあんまり、私、普段あんまり冗談言わないんでちょっと汗かかまして。

それから、ちょっと今大変だなと思ってることもありまして、災害、台風とか、15号、19号、それからこの間の風、雨の時もあるんですけど、我々、こういう、熊本の災害の時にこれを勉強しまして、東京都でもって災害マニュアルを我々の業界で作りました。それでこの中で、今回役に立ったのが、ライン網を作ったんですね。電話だとつながらないということが実際に3・11の時にありましたので、ライン網を作りました。そしたらば、今回足立の方で、煙突がちょっと、1軒、倒れてしまったことがあったんですが、そういった情報も即入ってきまして。あとは他に大した影響はなかったんですけども、そういったライン網というのも整備できるようになりまして、ありがとう、なんとか地域貢献できればなあと。災害救助法の適用になった時にも、我々全員でもって、営業できる場所は入浴支援をしたいというふうに考えております。それで、要望書の方に移りたいと思います。

要望書の1ページ目、1ページ目で、「記」の下の、「公衆浴場利用推進事業補助」というところの（2）でございます。「地域交流拠点事業について」というところで、最近各支部さんがだいぶやる気になってきまして、支部同士でもってやったら、或いは東京都全体

でやったら効果がもっと大きくなるだろうということで、今この補助金につきましては、各支部単位で下ろしている補助金でございます。ですので、枠をちょっと広げていただいて、各支部が連携してやりたい、或いは2支部、3支部が連携してやりたい、或いは東京都全部でやりたいという時には、ちょっと金額的に足りないので、トータルの金額は変わりませんが、使用について連携した場合には、ちょっと上げていただければ助かるなというふうに思っておりますので。

そして、あとの助成金につきましては、申し訳ございませんけれども、できれば同じようにいただければ本当に有難いと思っております。よろしく願いいたします。

○司会 はい、どうもありがとうございます。それではまず、知事からお願いをいたします。

○小池知事 そうですね、V字回復を大変嬉しく思います。やっぱり何よりもお客さん増えないとね。収入を増やして、やっぱり儲かるっていうのが、そのいろんな承継問題にもつながってくるかと思えます。文化ですから、是非皆さんにも頑張り続けていただけるような、そんなことを考えていきたいと思えます。

いくつかのご要望で、公衆浴場利用促進事業補助ということで、この令和元年で1700万の予算がついておりますが、利用者の拡大と公衆浴場経営の安定化を図るという意味で、まず今も話いろいろありましたけれども、様々なトライをやっているということ、そしてまた、情報発信を工夫しておられるということ、サポーターの増員は重要であるというふうに認識しておりますので、いろんなサポーターから、アドバイザーからつけていくということで、皆さんが、やはりいろいろ挑戦していく、そういう意志を持っていただければ、この事業補助も更に、金額のみならず生きてくるんだろうというふうに思っております。

それから、地域交流拠点の事業補助でございます。これについては、地域の交流拠点であるということは、まさしく、実際行ってみると、おじいちゃんおばあちゃんのずっと憩いの場になっていたりするわけでありまして、体操の場になっていたりしますし、公衆浴場に期待する役割は大きいものでございますので、しっかり引き続きの支援を進めたいと思っております。

それから、今年度で2000万つけておりますが、活性化の実証実験補助ということで、利用者が少なくなったり、経営者が高齢化だ、後継者が不足だ、これはいろんな産業で共通な課題ではあるんですが、事業継続に直結する課題の解決が喫緊の課題であると認識しておりますので、引き続き取組を進めてまいりたいということで考えております。

○司会 私どもの方からの回答以上でございますけれども、他にも何かございましたら、皆さんの方からどうぞ。

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） ちょっと、これから始めようと思ってるのがありまして、インフルエンサー、ユーチューバーを前にさせていただきました。あのお陰で、60万以上の方が世界で見ただいて、外国人の方、結構増えました。そし

て今度、インフルエンサーの方に銭湯を発信してもらって、自分の国から出る前に、銭湯というのを知ってもらおうというふうに。出る前から、銭湯へ行こう、ということをやらず考えてもらって、こっちから来てからではなかなか動かないんで、そういうことをやってもらいたいと思ひまして、羽田空港とか、それから、この英語版で、あとはゲストハウスとか、それから観光とか、特にこれを何万という形で置きたいなど。そういうことを今これからやろうというふうに思っておりますので。

○小池知事 それはどこで出していращやるの？（マイク通していない）

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） これは我々で作りました。銭湯の、日本では、これだけの銭湯の魅力があるよ、ということ英語版で作りました。

○小池知事 それをまたユーチューブで・・・（マイク通していない）

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） ユーチューブとホームページとか。もうユーチューブに上げます。インフルエンサーが大体15万のフォロワーで、回数だと70万とかっていう方がいらっしゃいますので、その方に頼んで、影響力あると思ひますので、やっていきたいと思ひしております。

○小池知事 いろんな外国人が来るんですか・・・（マイク通していない）

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） はい。ヨーロッパ、アメリカ、アジア系も結構多いんですけども。

○小池知事 =（13:38）（マイク通していない）

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合 はい、大丈夫です。

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） かえって、日本の若い人よりマナーいいですよ。それで、今度にはこれに備えまして、今まで指差し案内マニュアルっていうのを作ってたんですけど、今度には手渡し案内マニュアルを作ろうと思ひて、中国語とか英語とかで書いてあったものをお渡ししちゃって、これを見ながらお風呂入ってくださいというふうにしちゃった方が、水に濡れても大丈夫なようにしちゃった方が面白いのかな、分かりやすいかなっていう、そんなアイデアも今考へておりますので、実際にやっていきたいと、今年度。

○小池知事 常連さんはかえってなんかこう・・・（マイク通していない）

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） いや、常連さんが結構ね、外国の人と話してくれるんですよ。

○小池知事 交流拠点ですね。（マイク通していない）

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） そうですね。世界の交流拠点になってる・・・

○小池知事 ==（14:29）（マイク通していない）

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） 裸ですね。結構日本の方も、おじいちゃんおばあちゃんも、若い人も、外国の方をあんまり恐れなくなっているような雰囲気ですね。

○小池知事 ==（14:43）（マイク通していない）

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） はい。面白いですよ。

○小池知事 それじゃ、タブレットか何かで？（マイク通していない）

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） 今、こういうアプリでもありますんで、それをもう使えるし、それから、もちろんポスターなんかでもいろいろ書いてありますので、それを見ていただいて。この間ちょっと面白いことがありまして、アジアの

○小池知事 =（15:10）（マイク通していない）

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） そうですか。はい。アジアの方が、私の母が91歳なんですけども、そこへ・・・。

○小池知事 =（15:20）（マイク通していない）

○東京都公衆浴場業生活衛生同業組合（近藤理事長） そうです、その話。そうです。そういうこともあって、なかなかね、日本の方って、偉いと思います。本当に優しいですよ。

もう1つあるのが、タトゥーの問題になるんですけど、外国の方は結構入っていらっしゃるんで、それはファッションとか宗教的なものなので、受け入れるっていうことは、基本的にはOKだなというふうに思っておりますので。

○司会 いろいろな貴重なお話、どうもありがとうございました。それでは、以上をもちまして、ヒアリングを終了させていただきます。どうもありがとうございました。

○小池知事 ありがとうございました。

（東京都公衆浴場業生活衛生同業組合 退室）

○司会 どうもありがとうございました。それでは、続きまして消費者機構日本の皆さまでございませう。よろしく願いいたします。

（消費者機構日本 入室）

（要望書手交）

○司会 どうもありがとうございました。ご着席をお願いいたします。それでは、これより消費者機構日本の皆さまとのヒアリングを始めさせていただきます。冒頭、知事からお願いをいたします。

○小池知事 今日は、藤井喜継理事長をはじめ、消費者機構日本の皆さま方にお越しいただきまして、今年でもう4度目になります。来年度の予算もそうでありますが、今、長期戦略という、都としましての、そういう戦略を描きつつあるところでございませう。そういったところで、長期においても何をすべきか等をご仔細いただければというふうに思っております。

特定適格消費者団体として関わられておられます、集团的消費者被害回復訴訟制度、有効に機能して、都民の消費者被害を回復するというところで、都民の消費生活の安全・安心の確保ということで、健全な経済の発展が図られると認識をいたしております。また、皆さま方のご活躍いただくことで、消費者保護の観点から、また、啓蒙、それから安全ネッ

ト、こういったことを果たして頂ければと思います。座ったままで結構でございますので、どうぞよろしくお祈いします。

○司会 それでは、早速でございますが、藤井理事長お祈いいたします。

○消費者機構日本（藤井理事長） 本年6月に、消費者機構日本の理事長になりました、藤井喜継と申します、よろしくお祈いします。今日は知事の方に、令和2年度特定適格消費者団体の財政支援のお祈いにまいったところでございます。

平成29年度に、全国で初めて、東京都において、無利子での訴訟貸付制度を創設していただきました。本当にありがとうございます。当機構では、この貸付制度を積極的に活用させていただきまして、30年12月に、消費者団体消費者被害回復訴訟制度第1号となる訴訟を提起させていただきました。知事もご存知かと思いますが、大学の医学部の入試において、女性とか浪人生等の不利益な選考基準を設けて、それを公表せずに入試を行っていた事案で、同様の事案を今年3件目の訴訟としまして、こちらは順天堂さんなんですけれども、訴訟をさせていただいているところでございます。このように属性による不当な選考基準が採用されていたことが明らかであれば、それらの属性の方々を受験しなかったであろうというふうに思われますので、受験料等相当額の損害賠償を求めて、現在提訴をしているという形でございます。3件のうち2つは大学入試なんですけれども、もう1件、訴訟をしております、これは必ず多額の利益が出るとして、仮想通貨の投資に関わるDVDと、それから自動投資システムなるものを販売していた事案ですが、いずれも説明とは異なり、利益が必ず出るもののようなものではないということで、それぞれの購入金額相当額の損害賠償を今求めております。いずれも現在係争中でありまして、勝訴できるように力を尽くして、被害回復に尽力していきたいというふうに思っております。集団的消費者被害回復制度を活用して、都民の皆さんの被害回復を図るために、令和2年度におきましても、特定適格消費者団体に対する訴訟資金貸付制度の運用に必要な予算措置を、引き続き講じてくださいますようお願い申し上げる次第でございます。どうぞよろしくお祈いいたします。

○司会 はい、ご説明どうもありがとうございました。それでは、知事からお祈いをいたします。

○小池知事 はい、訴訟手続きが担保されるというための予算措置が、様々、現実に有効にお祈いいただいているというお話をいただきました。特定適格消費者団体が、安定的にこの訴訟手続きを実施できる環境整備が重要かと考えておりますので、昨年と言いますか、今年が1600万でございますが、引き続き支援をさせていただきたく存じます。ちょうど、消費者をいかに守るかというのは、以前から大きな観点であり、かつ最近の営業って言いましょうか、それからサービスにしても商品にしても非常に多岐にわたる課題を抱えているかと思ひます。そういう意味で、消費者機構日本の皆さま方が、これからも消費者保護のためにご努力いただけるように考えていきたいと思ひしております。中山会長にどうぞよろしくお伝えくださいませ。

○司会 はい、私共の方からの回答以上でございます。あれなんですか、この制度、やはりだいた定着をされているようなことを、確か、初年度はまだ件数ゼロだったんですが、昨年件数が、事案が発生して、もう3件ということで、だいた消費者の皆さま方へ定着していると、そういうような状況なんでしょうか。

○消費者機構日本 だいた消費者の方に制度自体が知れ渡って、被害を受けた方とか、情報を寄せて来られる方がかなり増えまして、そういう関係で、今回の訴訟やなんかの情報を取得して、阻止につなげたということがあります。

○司会 どうもありがとうございます。知事の方からのご回答したような形で私共も対応させていただきたいというふうに考えております。他に何かございますか、皆さま方。よろしゅうございますか。では、以上をもちまして、はい。どうもありがとうございました。

（消費者機構日本 退室）

○司会 はい、どうもありがとうございました。本日のヒアリング、以上でございます。